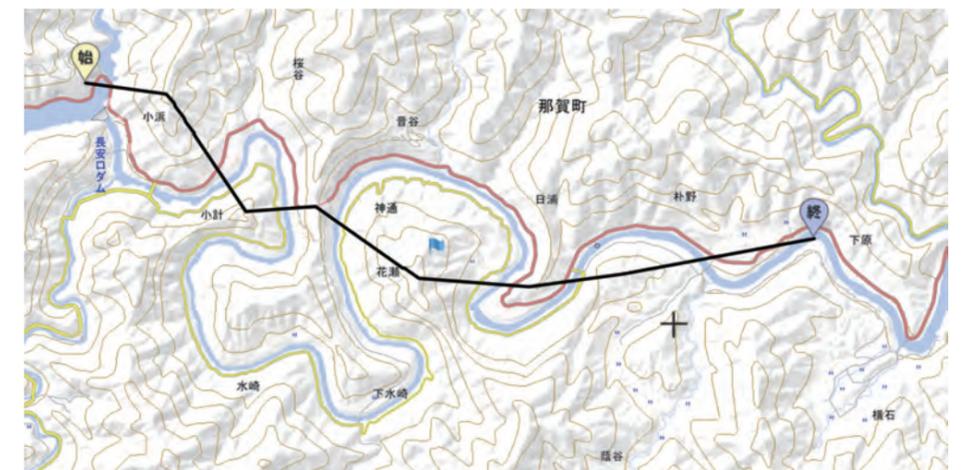
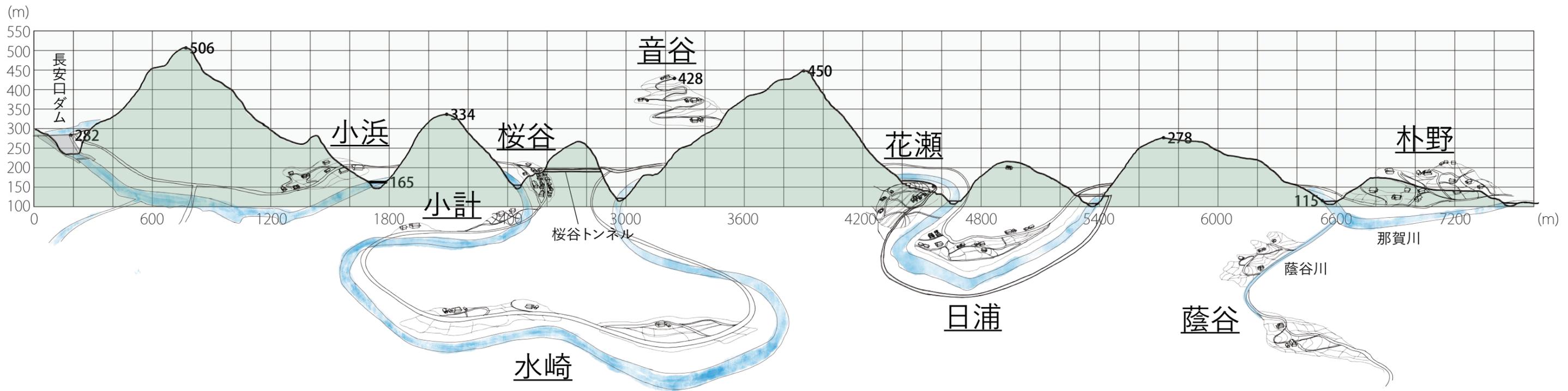


那賀川中流域のパノラマ図

作成：早稲田大学 中谷礼仁研究室 修士1年 鄭知映

下図は、第2回徳島県那賀川流域調査（2021年12月10日～12日）を基に作成した。縦軸が標高、横軸が距離である。縦方向は実際の長さのおよそ200%で表されている。

この地域は、那賀川全体の中で特に川の蛇行が顕著に残っていること、また音谷のように川から離れた高地の集落へのアクセスがあることから、第2回調査地に選定した。下図より、ほとんどの集落は川面よりも20～40mほど高い所に位置している。音谷は、川面よりもおよそ300mも高い所にある。



切断線(地理院地図に加筆)